

宮城県感染症発生動向調査情報

2026.1.26 ~ 2026.2.1 - 第5週 -

令和8年2月5日発行

1. 集計

疾 病	保 健 所					仙台市	宮 城 県(含む仙台市)	
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
急性呼吸器感染症定点	急性呼吸器感染症 ^{*1}	1080 216.00	1168 116.80	805 161.00	437 87.40	453 113.25	2,816 108.31	6,759 122.89
	インフルエンザ ^{*2}	452 90.40	664 66.40	240 48.00	154 30.80	201 50.25	985 37.88	2696 49.02
	新型コロナウイルス感染症 ^{*2}	44 8.80	86 8.60	22 4.40	30 6.00	15 3.75	99 3.81	296 5.38
小児科定点	RSウイルス感染症 ^{*2}	3 1.50	1 0.17	2 0.67	2 0.67		20 1.33	28 0.90
	咽頭結膜熱 ^{*2}		1 0.17	1 0.33			1 0.07	3 0.10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ^{*2}	3 1.50	69 11.50	11 3.67	3 1.00		28 1.87	114 3.68
	感染性胃腸炎	24 12.00	20 3.33	16 5.33	3 1.00	35 17.50	119 7.93	217 7.00
	水痘		1 0.50				2 0.13	3 0.10
	手足口病						1 0.07	1 0.03
	伝染性紅斑		2 0.33		2 0.67		1 0.07	5 0.16
	突発性発しん		1 0.17	3 1.00	2 0.67		4 0.27	10 0.32
	ヘルパンギーナ ^{*2}						0	0
	流行性耳下腺炎						1 0.07	1 0.03
眼科定点	急性出血性結膜炎						0	1
	流行性角結膜炎		1 0.33		1 1.00		2 0.33	4 0.33
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0 0
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00	2 2.00			2 0.40	5 0.50
	無菌性髄膜炎						0	0
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	5	2	1	5	
	川崎病							
	不明発疹症							

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 24例(前週比較:+6例)

※ 今週の新型コロナウイルス感染症による入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 15例(前週比較:+4例)

2. 全数報告疾患

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(無症状病原体保有者)
 - 大崎管内 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症
 - 塩釜管内 女性1名(O148)
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
 - 石巻管内 女性1名
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)
 - 仙台管内 男性1名(第4週)
- 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 石巻管内 女性1名
- 水痘(入院例)
 - 仙台管内 女性1名
- 梅毒
 - 塩釜管内 女性1名
 - 仙台管内 男性3名、女性2名
- 破傷風
 - 仙台管内 女性1名
- 百日咳
 - 大崎管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名、女性2名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始／継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

急性呼吸器感染症患者より

第5週採取分(7検体)

インフルエンザウイルスBピクトリア系統 1件、SARS-CoV-2 1件
RSウイルスサブグループA 1件、パラインフルエンザウイルス3型 1件、
ヒトメタニューモウイルス 1件、エンテロウイルス属 4件、陰性 1件

※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】

1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。

<https://www.pref.miagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センター～ウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。

<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

インフルエンザの定点医療機関あたりの患者報告数は、前週の24.85人から49.02人へと増加しました。4週連続の増加となり、県内全域で令和6年度まで運用している警報発表基準値を再び上回りました。学校などでのB型インフルエンザによる休業措置の報告も増加しており、急性呼吸器感染症患者からもB型インフルエンザウイルスが検出されています。

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50~60%)を保つことも効果的です。加湿と換気を心がけ、咳エチケットの徹底、手洗いなど、基本的な感染対策を心がけましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

塩釜管内の定点医療機関あたりの患者報告数は、前週の6.67人から11.50人へと増加しました。この疾患は、高熱・咽頭炎・嘔吐等を主症状とする上気道感染症で、学童期の小児に患者が多く発生します。冬季と、春から初夏にかけて流行しますので、今後の動向に十分注意し、手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

